

(表1)令和5年度 動物実験に於ける計画数及び使用動物数

	実験計画数	不実施計画数	件										
			マウス	ラット	ウサギ	モルモット	ハムスター	マーモセット	ニホンザル	アカゲザル	カニクイザル	イヌ	ブタ
人間科学研究科	7	0	4	3									
			154	41									
理学研究科	7	0	7										
			1,346										
医学系研究科	426	35	327	76	17	5	2	6	3	4	4		13
			53,003	3,601	171	64	15	34	22	6	8		147
医学系研究科 (保健学専攻)	18	4	15	4									
			1,671	285									
歯学研究科	98	2	61	26									2
			5,245	1,093									
薬学研究科	48	0	46	3									1
			12,149	328									
工学研究科	5	4	2	2									
			72	37									
基礎工学研究科	4	0	4										
			327										
生命機能研究科	26	0	12	2					9	2			
			23,132	34					44	2			
微生物病研究所	73	9	69	6	3	1	8					1	
			22,366	134	38	0	184					0	
産業科学研究所	5	1	4										
			226										
蛋白質研究所	7	0	7										
			2,850										
免疫学フロンティア研究センター	24	0	24	2									
			26,828	130									
ヒューマン・メタ パス疾患研究 拠点	0	0											
合計	748	55	582	124	20	6	10	6	12	6	5	3	13
			149,369	5,683	209	64	199	34	66	8	8	50	147

# 表1に、大阪大学の教員が動物実験責任者として行った外部研究機関等での実験・飼育を含む。

# 動物園動物や伴侶動物を対象とした日常場面での行動観察研究は表1には含まず、実験終了時に殺処分を伴わないことを前提とした実験に関しては表2に示す。

# 表1の使用動物数は、殺処分の有無に関わらず当該年度中に動物実験に供した動物数を計上している。

(表2) 行動・認知・生態調査を目的とする殺処分を伴わないことを前提とした研究

	実験計画数	不実施計画数	単位												件
			ニホンザル	ニシゴリラ	シロテナガザル	マサイキリン	フンボルトベンギン	アミメキリン	エランド	グラントシマウマ	ハシビロコウ	オラウータン	ハルマワラビー	ミニカバ	匹、頭など
人間科学研究科	13	1	2【注1】 8【注3】	1【注2】	1【注1】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】
			1905	3	1	46	20	2	1	1	1	2	10	3	2
理学研究科	0	0													
医学系研究科	0	0													
医学系研究科 (保健学専攻)	0	0													
歯学研究科	0	0													
薬学研究科	0	0													
工学研究科	0	0													
基礎工学研究科	0	0													
生命機能研究科	0	0													
微生物病研究所	0	0													
産業科学研究所	0	0													
蛋白質研究所	0	0													
免疫学フロンティア 研究センター	0	0													
ヒューマン・メタ バース疾患研究拠点	0	0													
合計	13	1	2【注1】 8【注3】	1【注2】	1【注1】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】	1【注2】
			1905	3	1	46	20	2	1	1	1	2	10	3	2

【注1】飼育重長類を対象とした行動・認知研究

【注2】動物園動物を対象とした行動・認知研究

【注3】野生ニホンザルに対する行動研究または一時的捕獲を伴う生態調査研究